令和6年度 施設分析シート

I施	設の概要			施設コート	š S07	-01-01			
	施設名	あらかわエコセンター							
	所在地	荒川一丁目53番20号							
	部課名	環境清掃部	環境課						
tta	設の履歴	時期建築費		財源内容(単位:千円)					
JIT.	設しい複定	时初	(単位:千円)	国・都	国・都区債				
	建築	昭和47年	140, 000						
	増改築①	昭和55年	130, 000						
	増改築②	平成23年	150, 000						
f:	并設施設	心身障害者福祉センター							
竣	工年月日	昭和	1147年		区職員	その他			
供用	開始年月日	平成21年2月1日		職員数	33人	0人			
	構造	鉄筋コン	クリート造	階層 地上3階(2階の一部、3階)					
	面積	敷地面積		2, 386. 02 m²					
	山頂	延足	末面積	1,994.60(センター占有分881.25) ㎡					
記署	目的・経緯	環境先進都市を目指し、環境学習や情報提供など、環境施策							
以但	「ロロシュル王小士	を総合的に推進するための区民等の自主的な環境活動の拠点							
Į.	関連部署	福祉部障害	者福祉課						
根	拠法令等	本三〇구급	境学習情報セ	八万一冬间					
Ē	设置条例	元川区丛塚	^银 力日用報で	ファー末例					
	車場の状況	10台 /	バリアフリー	● エレベー?	ý— ● ト/	ヘン			
馬主車	論場の状況	45台	対応状況	● 点字ブロ [・]	ック ● ス۱	ロープ			





Ⅱ管理道	軍営の状況	5								
管理	里形態	その他	3	2階部分は直営。 3階はNPO法人エコ生活ひろめ隊に委託			期間	令和6年4 令和7年3		から まで
・環境の保全に関する情報の収集及び提供に関すること ・環境の保全に関する講演、講座等の開催及び活動の場の提供に関すること ・環境の保全に関する学習及び環境教育に関すること ・環境の保全に関する活動を行う区民及び団体の支援に関すること										
対	象者	一般区民ほか								
運営	時間等	運営時間			(ただし、午後9時					
た 口	F) [H] 77	休日	土		F始(ただし、月1		日曜(又は			
				令和2年度	令和3年度		和4年度	令和5年度	令和6年度	
施	年間利用者数(人)			8, 990	12, 433		14, 700	7, 875		8, 300
設 基	開館日数(日)			253	255		256	250		255
基	=# 			010	400		410	000		050
本デ	A1 1 1 - 1 1 1 1 1	者数(人)		319	489		412	220		250
ナー	講座開催	剱(凹)		53	67		66	36		40
タ										
等			_							
₹										
に指										
用係定										
等る管										
費理										
備考					で援コーナーの数値 (委託による実施を			値である。		

皿財	I財務請表 (単位:千円)								
		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
		給与関係費	177, 702	206, 014	28, 312	地方税等	0	0	0
4=		物件費	14, 392	14, 705	313	_年 国庫支出金	0	0	0
行政		維持補修費	715	3, 112	2, 397	都支出金	0	0	0
コ	行	扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
 	政	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	435	444	9
î	費	減価償却費	6, 785	701	▲ 6, 084	へその他	▲ 23	0	23
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	412	444	32
算		賞与・退職給与引当金繰入額	17, 419	37, 898	20, 479	行政収支差額(a)-(b)=(c)	1 216, 601	▲ 261, 986	▲ 45, 385
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	217, 013	262, 430	45, 417	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 216, 601	1 261, 986	▲ 45, 385
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 216, 601	1 261, 986	▲ 45, 385
		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流 <u>動負債</u>	9, 113	12, 790	3, 677
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
岱		有形固定資産	265, 981	265, 981	0	賞与引当金	9, 113	12, 790	3, 677
貸借		土地	265, 981	265, 981	0	その他の流動負債	0	0	0
対	Œ	建物	279, 385	222, 322	▲ 57, 063		103, 937	120, 938	17, 001
昭	固定資	建物減価償却累計額	▲ 279, 385	▲ 222, 322	57, 063		0	0	0
照表	咨	工作物等	7, 997	7, 997	0	退職給与引当金	103, 937	120, 938	17, 001
1	産	工作物等減価償却累計額	▲ 7, 997	▲ 7, 997	0	その他の固定負債	0	0	0
	/ <u>-</u>	無形固定資産	0	0		負債の部合計	113, 050	133, 728	20, 678
		建設仮勘定	2, 830	17, 764		正味財産	156, 462	150, 017	▲ 6, 445
		その他の固定資産	701	0		正味財産の部合計	156, 462	150, 017	▲ 6, 445
	資	産の部合計	269, 512	283, 745	14, 233	負債及び正味財産の部合計	269, 512	283, 745	14, 233

行政費用の主要部分は、環境課職員の人件費である。物件費は、エコセンターの管理運営に係る委託料、消耗品費等である。その他の固定資産は、令和元年度に購入した小型乗用電気自動車である。行政収入の使用料及び手数料は、エコセンター敷地の目的外使用料である。

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	96	98	100	100	
財	1㎡当たりコスト(円)	171, 676	209, 445	196, 037	252, 088	
務	人にかかるコストの割合(%)	88	91	90	93	
指	開館1日当たりコスト(円)	751, 166	909, 239	847, 707	894, 408	
標	利用者1人当たりコスト(円)	21, 140	18, 648	14, 763	33, 324	
175	区民1人当たりコスト(円)	891	1, 087	999	1, 017	
評						
価						
指						
標						
等						
1-11-	令和5年度に、併設施設である心身障害者福祉	トセンターの児童	発達支援センタ	一化に伴う、質	関を関する	ぬえにより、使

| 令和5年度に、併設施設である心身障害者福祉センターの児童発達支援センター化に伴う、建物の一部所管換えにより、使 | 用床面積が少なくなったことから、1㎡当たりコストが増えている。また、令和5年度から6年度にかけての館内改修工事 | による利用制限から、利用者数が減っているため、利用者1人当たりのコストが増加した。

IV	施設運営の	方同性	(所管	の考え	<u>え方)</u>

IV 施設連宮の万回性							
計画の有無	● 無 O 有	(計画名:)
目標指標	指標名·単位 年間利用者数(人)	目標値実績値	R2年度 11,751 8,990	R3年度 9,630 12,433		R5年度 5,680 7.875	
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	○ 民営(○ その(Ł O	他施設との)
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:● 無)
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	〇環境活動支援コーナー て、環境活動支援コロい手の の心身障害者福祉センマ の連携・協働をコロで 〇〇環境に 〇〇環境に 〇〇院炭素や での普及・啓発活動が必	育成と支援を 有し、 一(荒川たん る。 一を知っても 、子どもへの 、ック、SDO	を図るととも いぽぽセンタ らう方策が O環境意識を	に、区民同士 一)との複合 必要である。 向上させる取	の環境情報を 施設であるか な組が必要でも	を換の場とな こめ、環境・ ある。	さっている。 福祉両分野
課題に対する 現時点での考え	○子どもから大人まで様 ○環境活動の担い手の育 ○脱炭素社会の実現など ○イベントなどを通じ、 ○街なか図書館の一つと 効果的な取組を行ってい	成のため、斑新たな課題に 環境・福祉で しても機能を	環境活動の拠 に関する展示 5分野の更な	点として活動 を行うなど、 る協働に取り	かの輪が広がる 機能の充実 り組んでいく。	るよう充実を と図る。	図る。
議会、利用者等からの意見	平成26年度11月会議 エ 平成26年度決特 エ	コセンター0 コセンター0		した食と農の サイクルセン)祭典について シターに集約を	-	



令和5年度から6年度にかけては、併設施設である 心身障害者福祉センターの児童発達支援センター化 に伴う館内改修工事による利用制限から、利用者数 が減っている。



令和5年度から6年度にかけては、併設施設である心身障害者福祉センターの児童発達支援センター化に伴う館内改修工事による利用制限から、施設での講 座等の開催が減ったため、参加者数が減っている。